

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
		○					○	○	○				○	

## 企業の概要

企業・団体名	NPO法人樹木・環境ネットワーク協会	本社所在地	東京都
業種	サービス業	総従業員数	6名
事業概要	日本の森林をはじめとする緑地の保全活動とそれを担う人材の育成。および、環境教育を主とした活動の実践。		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク就業規則
テレワーク担当部署	東京事務局
テレワーク対象者	事務局職員
実施者数	5名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

## テレワークの導入・拡大の経緯

2019年4月、現スタッフ1名が親の介護により通勤が困難になったことを受け、通勤しなくても連携のしやすい体制づくりの検討をはじめた。具体的にテレワークという働き方の検討を詰め始めたのは8月。推進のための助成金があることを知ったことで、さまざまな働き方が選択できる体制をめざし、助成金取得に向けた準備を始める。12月に助成金の決定を受け、2020年1月より機器の導入や就業規則の作成、コンサルティングによるテレワークの講習と検定をスタッフが受講し、2月よりテレワーク体制での業務をスタートした。新型コロナウイルスの感染拡大防止の点から、4月～5月末までは9割以上在宅勤務として実施。6月以降は週2回の在宅勤務を実現している。

## テレワークの概要・特徴

### ・テレワーク制度の概要・特徴

従来よりデータサーバーを使用しており、VPNによるファイルの共有はできていた。その状況を活かし、在宅勤務者のPCにはVPN接続でファイルサーバーへのアクセスを許可。Microsoft Teamsを導入し、スタッフ感の円滑なコミュニケーションができる環境を構築した。

### ・テレワークの活用拡大や定着、効果的な運用のために工夫した点

原則としてテレワーク検定の合格者を在宅勤務可能とした。Teamsが稼働することで奪われる画面を各スタッフの自宅にモニターを貸与することで生産性を改善している。

### ・テレワークでの長時間労働を防ぐための具体的な取組

在宅勤務者がいる場合、事務所勤務者と朝と夕のあいさつ(情報共有)の時間をつくり、始業、終業の時間を意識づけている。

・その他、今後テレワークを導入する団体の参考になる知見 等  
なんとんでもスタッフ感のコミュニケーションが大事。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

### ・テレワークを導入したことによる経営にもたらした効果

時間外労働については、減少傾向にあるものの、新型コロナウイルスにより業務の減少も伴うため、一概にテレワークの効果とは言えない状況にある。しかしながら、通勤が減ったことで交通費が大きく削減された。事務所に来なくてはできない仕事が減り、現場の活動が多い仕事であっても、直行直帰がしやすくなった。また、コミュニケーションツールとして導入したTeamsにより、リアルタイムな連携ができ、担当スタッフとの確認もスムーズにできるようになった。

・テレワーク導入にあたり、ICTの利活用、地方への移住や地方活性化等の取組や成果  
当団体にてテレワークを導入した時点ではそれほどではなかったが、新型コロナウイルスにより多くの団体がウェブ会議を開催できるようになったことで、オンラインでの打合せや会議の機会が増えた。地方での活動については今後増やしていきたいと考えている。

### ・その他テレワークの導入によって創出された社会的効果の事例

通勤時間がなくなったことで、スタッフのプライベート時間も増えた。終業後にスポーツジムに通うなど、健康面での向上、これまでになかったコミュニティへの参加が可能になったことがうかがえる。